

広大な自然に楽しさが満載

「国営昭和記念公園」では、さまざまな試みが行われている。
「緑の回復と人間性の向上」を基本理念に生まれた広大な空間に、公園が持つ魅力を探る。

豊かな自然と、
四季の花々を求め、
380万人が集う

国営昭和記念公園は、東京都心部から西へ約35km、武蔵野台地の一面に位置する。現在の敷地面積は約165ha。なんと、東京ドームおよそ42個がすっぽり収まってしまうほどの広さを誇る。

「もとは米軍の立川基地で、返還後に跡地の一部が国営公園として整備されました。国営公園の多くが300haを超える規模を有しているので、それと比べればコンパクトかもしれませんが」

こう語るのは、調査・品質確保課長の澤田。とはいえ、都市圏の駅に隣接する便利な立地で、これほどの広大な公園は貴重。園内では溢れんばかりの自然が待ち受ける。豊かに水をたたえる水辺、広い野原、大きく枝を伸ばした樹木たち。

「植物による高度な修景は国営公園の



JR立川駅から昭和記念公園に進むとあらわれる入口が立川口。この先に広大な自然や多様な施設が広がる。写真はボビーが咲き誇る「花畑」と広大な「みんなの原っぱ」。

最大の魅力。一年中、園内のどこかで花が咲いているよう計画的に管理しています」。緑と花との出会いを求め、入園者数は増加の途。平成21年度には年間約380万人を記録した。

「多くの方が楽しめる場を提供することも大規模公園の役割。多彩なニーズに対応できるよう心がけています」

園内には日本の伝統的な造園技術による日本庭園もある。美しい自然や野外活動の場のみならず、こうした施設の充実も公園の大きな魅力となっている。

公園の魅力を醸成するのは公園職員だけではなく、地域のボランティアも大きく貢献している。公園案内を務めるガイドボランティアをはじめ、雑木林や野草の管理、レクリエーションやスポーツの指導など、13団体約10000名のボランティアスタッフが活動している。

「これほど多くの市民の方々が積極的に公園づくりに参加している例は珍しく、昭和記念公園の大きな特徴だと思います」



関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所
調査・品質確保課長
澤田大介

イベントや体験学習の開催も積極的で、地域住民の交流や文化活動の拠点になっているという。

安心を提供し、災害時には安全を確保する

園内では車イスを利用している来園者や高齢の来園者も多い。園路はほぼバリアフリー化。さらに、子ども用の遊具にも特別な配慮がある。「車いすで遊べる複合遊具、体が固定できるブランコなど、障がいを持つお子さん用の遊具も整備しました」。

その結果、平成12年度に3万3千人だった障がいを持たれている方の入園者数は、22年度には約9万7千人に増加。「誰もが使いやすい公園に整備する。これも国営公園の大切な使命です」

ほかにも大きな使命がある。公園は立川市、昭島市の広域避難場所に指定されている防災拠点だ。収容想定数は、地元住民と公園利用者合わせて11万5千人。

「園内には飲料用貯水槽、非常用発電機、ソーラー照明、防災対応トイレなどの防災施設を整備しています」

そして現在、東日本大震災の体験を教訓に、防災設備の見直しも行われている。震災時に起こる様々な状況に対応できるよう、電気、通信設備の強化やトイレ設備の改良など、各設備のさらなる充実が図られている。



バリアフリー



上／スロープがあり、車いすの子どもも遊べる複合遊具。
左／子どもたちに大人気の遊具「ふわふわドーム」に手すりを設置し、障害を持つ児童も遊べるよう工夫。



地域活性化



上／サギソウボランティアのスタッフ。市民参加で公園づくりが行われている。
下／地域と連携したイベントを数多く開催している。写真は「春の楽市」。

都市公園の果たす多彩な役割

良好な都市環境の提供

地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全などにより、良好な都市環境を提供します。

都市の安全性の向上

災害時には、避難地、避難路、延焼防止帯、防災活動の拠点などとなり、市民の安全・安心を確保します。

市民の活動の場、憩いの場の形成

自然とのふれあい、健康運動、文化活動など、子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層の多様な活動の拠点となります。

豊かな地域づくり、地域の活性化

中心市街地のにぎわいの場や、地域の歴史的・自然的資源を活用した観光振興の拠点などとして、快適で個性豊かな地域づくりに貢献します。



防災

上／災害時に避難者1人が1日1リットルの飲料水を確保できる飲料用貯水槽。
右／非常時に自動的に作動する非常用発電機を備えた井戸設備も整備されている。



文化



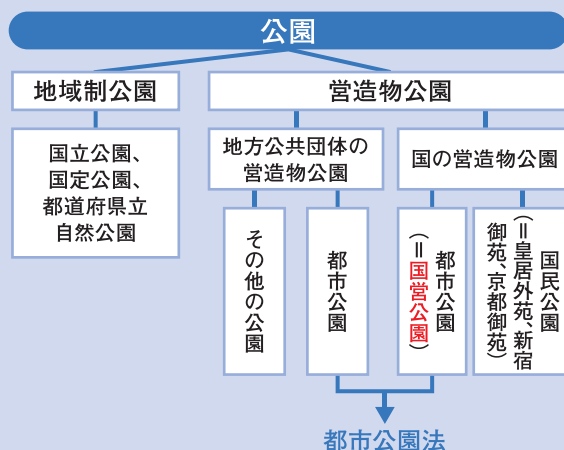
園内に設けられた日本庭園と盆栽苑は、伝統の造園技術の紹介と継承という役割を担う。

都市公園とは

「公園」には、都市公園に代表される営造物公園、国立公園に代表される地域性公園がある。

都市公園は、身近な街区公園や地区公園、多目的に利用される総合公園など、全国約9万8千カ所。

国営公園には、ひとつの都府県の区域を超えた広域の見地から設置される1号公園、国家的な記念事業や、貴重な歴史・文化資産の保存活用のために設置される2号公園の2種類がある。



緑と水を生物のゆりかごに

自然環境の保全・再生・創出は、現代社会が抱える大きな課題。
公園の豊かな自然は、生物多様性の保全・向上にも大きな役割を期待されている。

林と湿地と水辺。
多様な環境が
生物たちを育む

「環境保全も国営公園の大きなテーマ。
この公園でも設計段階から先進的なプ
ランが盛り込まれています」と語る澤田。
その代表例が「水鳥の池」を中心と
する雨水利用の水循環システム。

「ここは人工の溜め池で、公園内に降つ
た雨をここに集め、日本庭園、溪流、噴
水に配水し、園内の散水やトイレの洗
浄水の補充にも利用しています」

また、公園で伐採された樹木、刈草
された植物や雑草などは「緑のリサイ
クルセンター」に集積され、舗装用の
チップ材、植栽用の堆肥などにリサイ
クルされている。

近年、環境問題の最重要課題の一つ
となっている生物多様性の向上にもい
ち早く取り組み、成果を上げている。

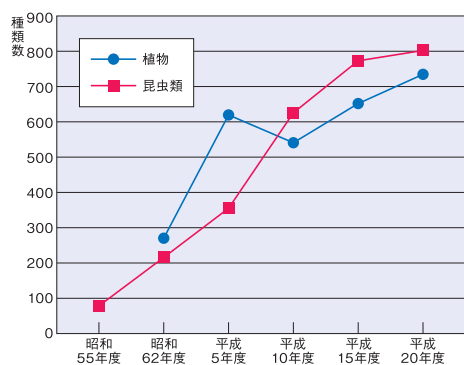
その拠点、武蔵野の雑木林を再
現した「こもればの丘」、水生植物が



マガモやオシドリなど、
多種多様な鳥が憩う
「水鳥の池」。岸辺の
バードサンクチュアリ
は、好適な環境を守る
ために職員も立ち入ら
ない。人の手を全く加え
ないスペースとして残し
ている。



国営昭和記念公園の植物・昆虫の数



園内の植物・昆虫も年々増加を遂げている。

「こもれびの丘」では山歩きも楽しめる。武蔵野の再生を目指し、約1万人

武蔵野を再生し、人と自然との新たな絆を構築

平成20年度の調査では、植物約740種類、鳥類約70種類、昆虫約800種類が確認された。昭和55年の調査では昆虫は100種未満、植物は200種程度。大きな成果だ。

生い茂る「トンボの湿地」、バードサンクチュアリのある「水鳥の池」の3カ所。園内各エリアそれぞれの異なる自然環境が、溪流と周囲の木々や植物を介し、ネットワークを形成している。「多様な生物を生息させるには、変化に富んだ自然環境を整備することが大切。例えば原っぱだけの公園にしてしまうと、原っぱが好きな生物しかいなくなってしまう」



上／公園のバードサンクチュアリの樹木下などには、レッドリストにも指定されている重要種「キンラン」なども確認されている。

下／タヌキなども園内を餌場として生息している。



農村の暮らしが再現されている「こもれびの里」の中心となる農家(完成予想図)。



静かな沼地が広がる「トンボの湿地」。トンボをはじめとする湿地を好む昆虫やカエルが生息。



上・下／周辺の沼にも水中を泳ぐたくさんのおタマジャクシが生息。環境の豊かさを物語る。



水車小屋や炭焼き小屋も備えた「こもれびの里」。農作業やイベントを通して、地域の交流や連帯感も育む場に。

「人々の営みも含め、武蔵野の風景をまるごと再生していくことで、自然と人とがどのようにに関わり、共存してきたかを伝えていければ」と澤田。

自然と人が確かなパートナーシップを結ぶ日を目指して。公園の取り組みは続けられていく。

隣接する「こもれびの里」には、昭和30年代の武蔵野の農村の心象風景が広がっていた。単に景観を整えているだけではない。ここではボランティア団体「こもれびの里クラブ」によって、実際の農村の暮らしが再現されているのだ。田んぼに稲を植え、畑で作物を育て、さらに季節ごとの村の行事や祭りも楽しむ。

ここにあっては暮らしに深く関わり、役立ってくれた自然。そう思うと、いっそう親しみが感じられる。

「武蔵野のような人里に近い林は、人々の生活に密接に関連した木や草花が生育する二次林で、伐採しても再び芽が出やすい木が多く、繰り返し薪や炭作りに使われてきたので、薪炭林とも呼ばれていました。人々は木を定期的に伐採して燃料に使い、落ち葉を集めて堆肥にしていたのです」

の市民ボランティアが1万本の苗木を植林して生まれた雑木林だ。植えられているのはクヌギ、コナラなどの落葉性広葉樹が中心。

バラエティ豊かな 独自の魅力を生みだす公園

それぞれの土地の文化や
自然を活かした、
全国17力所の
国営公園を紹介します。



【北海道】

① 国営滝野すずらん丘陵公園

自然とのふれあいをテーマに、北海道の雄大な自然を活かした公園。園内には石狩川の支流である厚別川や、日本の滝百選に選ばれたアシリベツの滝がある。



【宮城県】

② 国営みちのく杜の湖畔公園

東北の風土や文化とふれあえる公園。テーマは「人間性の回復向上」で、人と自然との関わり合いと原風景の再生を目指し、整備を進めている。



【茨城県】

③ 国営常陸海浜公園

長さ1kmの海岸線をはじめとする豊かな自然と様々な施設が整備された園内には、スイセン、ネモフィラ、コスモスなど、季節に応じた花が咲き乱れる。



【埼玉県】

④ 国営武蔵丘陵森林公園

明治百年記念事業の一環として設置された全国第一号の国営公園。起伏に富んだサイクリングロードや、23種類500本に及ぶカエデの紅葉が人気。



【東京都】

⑤ 国営昭和記念公園

昭和天皇御在位50年記念事業の一環として「緑の回復と人間性の向上」をテーマに整備された公園。市民参加や環境保全に積極的に取り組んでいる。



【東京都】

⑥ 国営東京臨海広域防災公園

大規模災害時に災害現地対策本部が設置される基幹的広域防災拠点であり、平常時には防災体験学習ができる「そなエリア東京」がある。平成22年7月に開園。

—— 特集 ——
人と生物を惹きつける
公園の魅力



【大阪府・京都府】

⑪ 淀川河川公園

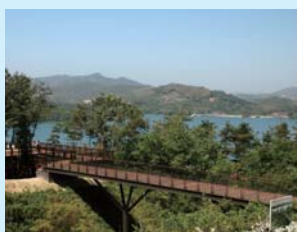
広大な水辺空間を活かした河川公園。淀川の自然環境を保全・活用しつつ、大都市住民に水辺の自然とふれあう場を提供している。



【兵庫県】

⑫ 国営明石海峡公園

明石海峡大橋を挟んで北に「神戸地区」、南に「淡路地区」があり、淡路地区が開園している。「自然と人との共生、人と人との交流」を目指して整備が進む。



【香川県】

⑬ 国営讃岐まんのう公園

国内最大級の溜め池「満濃池」に隣接する。テーマは「人間との語らい、自然・宇宙とのふれあい」で、豊かな自然と空海ゆかりの文化的土壌を活かしている。



【広島県】

⑭ 国営備北丘陵公園

園内には花広場、2万人収容の野外ステージがある芝生広場、北欧風のオートキャンプ場など、施設は多彩。中国地方の景観と、歴史や文化に親しめる公園。



【福岡県】

⑮ 国営海の中道海浜公園

博多湾と玄界灘に囲まれた公園。48種、約500点の動物を観察できる「動物の森」や、車椅子の方も利用できる遊具を備え、さまざまな楽しみ方ができる。



【佐賀県】

⑯ 国営吉野ヶ里歴史公園

我が国で最大級の環濠集落跡である吉野ヶ里遺跡の保存・活用を図るために設置された公園。環濠集落や水田、弥生の草地風景が再現されている。



【沖縄県】

⑰ 国営沖縄記念公園

海洋博覧会地区には「沖縄美ら海水族館」、首里城地区には「首里城」があり、沖縄に来る観光客のほとんどが立ち寄る人気スポットとなっている。



【新潟県】

⑦ 国営越後丘陵公園

園内は四季折々の花が楽しめる「健康ゾーン」、自然とふれあえる「野生ゾーン」、里山文化を育む「文化ゾーン」があり、多様な楽しみ方ができる。



【長野県】

⑧ 国営アルプスあづみの公園

北アルプスの山々に抱かれた安曇野に位置する。北の大町・松川と南の堀金・穂高の2地区があり、安曇野の豊かな自然や文化に触れることができる。



【愛知県・三重県・岐阜県】

⑨ 国営木曽三川公園

木曽川、長良川、揖斐川からなる木曽三川の広大なオープンスペースを活用した公園。国内最大規模総延長107km、計画面積6085haの公園が川沿いに点在する。



【奈良県】

⑩ 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

古代の政治と文化の中心として栄えた飛鳥地方の歴史的風土や、我が国を代表する歴史・文化資産である特別史跡平城宮跡の保存・活用を図るために設置された公園。

歴史と文化を 守り伝える公園の仕事

全国に展開する国営公園の中でも、「国営飛鳥歴史公園」は特異な存在といえる。
歴史的風土と自然環境を守りながら公園として整備を進める、その仕事とは？

歴史・景観の 蓄積を活かす 公園づくり

国営飛鳥歴史公園は、古代の政治と文化の中心、奈良県明日香村に広がる公園だ。開園している祝戸^{いわいど}、石舞台^{いわた}、甘樫丘^{あまがしのおか}、高松塚周辺の4地区と、現在開園に向けて整備中のキトラ古墳周辺地区、合わせて5地区が村内に点在している。

敷地の境界を示す柵や塀を持たず、明日香村を歩く観光客は、おそろくいつ園内に入ったのか、いつ園外に出たのか気づかない。昭和49年に開園した祝戸地区を筆頭に、公園が村の風景によく馴染んでいる。

「『どこからが公園かわからない』という言葉は、褒め言葉と感じますね」と、公園事務所の調査・品質確保課長を務める三井雄一郎。彼の役割は、公



石舞台地区

石舞台地区は、最も多くの観光客が訪れるエリア。石舞台古墳の西には野外ステージとしても利用可能な「あすか風舞台」、南側には棚田地形を生かした広い芝生広場がある。



祝戸地区

昔ながらの里山景観を楽しむ祝戸地区。飛鳥らしい景観が保全されている。



国営飛鳥歴史公園



近畿地方整備局
国営飛鳥歴史公園事務所
調査・品質確保課長

三井雄一郎

園整備に関する調査、計画、設計。公園内の自然環境や地形、景観、歴史的資源を調査し、いかにそれらの資源を活かしながら公園整備を進めるかをプロデュースすることだ。

三井が生まれる前から開園している地区もある。「古代の都というだけではなく、周辺の風景との調和がなされている面でも優れている公園だと思っています。歴史や景観の優れた蓄積を活かしつつ、より魅力的な場所にしていきたい。そのためには、特別史跡の管理・保存を担う文化庁や明日香村との連携も、とても大事です」と語る。

エリアの特色を活かした整備で たのしみを提供

各エリアを見ていこう。

●**祝戸地区**——もともと自然環境の豊かな場所である。研修施設「祝戸荘」もある。ここでは、飛鳥らしい景観の保全を目指し、野生の花木、草花による修景を進めている。

●**石舞台地区**——国指定特別史跡「石舞台」を中心としたエリア。周辺環境の保全が公園の大きな役割。隣接する広場に「あすか風舞台」を設置。イベントなどに使われる。

●**甘樫丘地区**——飛鳥古京、藤原京跡を一望できる地。古代史の重要地を眺望できることはもちろん、現在、



あまかしのおか

甘樫丘地区

ボランティアグループ「飛鳥里山クラブ」の協力を得ながら、里山づくり活動も進行中。



万葉集に詠われた植物が約40種観られる「万葉の植物園路」もある。

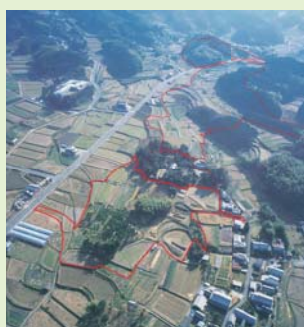


毎年秋に行うイベント「飛鳥光の回廊」。明日香村内の施設や史跡をロウソクの灯りが結ぶ。公園内では古墳の壁画を約5000本のロウソクで表現。幻想的な光景が浮かび上がる。



高松塚周辺地区

戦後最大の発見といわれた極彩色壁画で知られる高松塚古墳を中心とした、高松塚周辺地区。「高松塚壁画館」や中尾山古墳、壁画の星宿図をモチーフにした「星宿広場」などがある。



キトラ古墳周辺地区

昭和58年に確認されたキトラ古墳を中心としたエリアは、現在、具体的な整備に向けて計画設計が進む。豊かな自然を保全しながら、体験的に歴史を学べる施設も計画中。

特殊なゴーストにより現在の景色に古代の都の姿を重ねる視覚体験の実現に向けた取り組みが進められている。

●**高松塚周辺地区**——近鉄飛鳥駅から最も近い地区。「飛鳥歴史公園館」は飛鳥探訪の出発点となっている。また、有名な高松塚古墳壁画は、文化庁によって、石室の取り出し、修理がなされている。

●**キトラ古墳周辺地区**——現在、平成28年度の開園に向けて計画設計、工事を進めているエリア。有識者や地域の皆さんのご意見を伺いつつ、古墳などの歴史的資源の保全、活用を文化庁と連携しながらプランニング中である。

「自然、景観、歴史、我々が整備していく展示施設、園路、さらにはそういった場で開催されるイベントなどの各種活動、ハードソフトを問わず、幅広いものを仕事の対象とできることがやりがい、楽しく利用いただくことが誇りです」と三井。

貴重な文化財や自然、景観と公園整備をどのように調和させながら事業を進めるか。また、訪れる人々に飛鳥の地をどのように楽しんでもらうか。地域の特色を活かしたプランニングに三井ら職員たちの力もこもる。